

2019（令和元）年度 事業報告書

（2019年4月1日～2020年3月31日まで）

I 事業の概要

1992（平成3）年9月18日に設立された当財団は、2013（平成25）年4月1日には内閣府より認可を得て公益財団法人への移行登記を行い、公益目的事業の推進に力を注ぎ実施してきた。

公益目的事業の「1」として、前年度に引き続き、糖尿病に関する調査研究等に対する助成事業の推進を図るとともに、糖尿病に関する予防キャンペーンによる正しい知識の普及啓発活動の実施および助成を行った。また、新たな糖尿病に関する国際交流活動について具体的な検討を行った。

公益目的事業の「2」として、厚生労働省が推進する「糖尿病予防のための戦略研究」のうち課題3（J-DOIT3）を継承し、「2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究」を実施してきた。

II 事業の内容

公益目的事業 1

1. 研究助成（下記助成についてはホームページにも掲載している）

(1) 糖尿病に関する調査研究に対する助成

糖尿病合併症の種類・治療状況などの実態調査・研究、遺伝子異常による発症機構の研究、動物実験での発病メカニズムの解明を目的とする研究など、国内で行われる糖尿病に関する幅広い研究の公募を行った。応募は全国から31件あり、研究の計画性、予防・治療への応用性、治療薬の開発等の面から、選考委員会における応募課題の5段階評価を踏まえた慎重な審査結果を経て、6名に対し総額540万円の助成を実施した。

助成対象者は別添1のとおり。

(2) 日本ベーリンガーインゲルハイム㈱・日本イーライリリー㈱との共同企画による研究助成

「糖尿病病態下における原疾患／合併症治療に関する基礎研究」について、45歳以下の国内在住研究者に限定した募集を行った。応募は全国から36件あり、研究の計画性、予防・治療への応用性、治療薬の開発等の面から、選考委員会における応募課題の5段階評価を踏まえた慎重な審査結果を経て、3名に対し総額900万円の助成を実施した。

助成対象者は別添2のとおり。

(3) コストコホールセールジャパン㈱との共同企画による研究助成

「小児又は若年発症糖尿病（いずれも病型は問わない）に関する基礎的または臨床的研究」について、年齢制限は設けず国内在住研究者に限定した募集を行った。

応募は全国から 16 件あり、研究の計画性、予防、治療への応用性、治療薬の開発等の面から、選考委員会における応募課題の 5 段階評価を踏まえた慎重な審査結果を経て、5 名に対し総額 450 万円の助成を実施した。
助成対象者は別添 3 のとおり。

(4) 学術研究集会ならびに総合調査研究に対する助成

糖尿病に関する学術研究集会ならびに糖尿病の基礎的および臨床的問題に関する調査研究について応募があったものの中から、選考委員会における慎重な内容審査の結果を経て助成を実施した。
助成先は別添 4 のとおり。

※研究助成における選考委員会の構成は以下のとおり。

委員長	春日 雅人	朝日生命成人病研究所	所長
委員	石橋 俊	自治医科大学	内分泌代謝科 教授
〃	宇都宮一典	東京慈恵会医科大学	総合健診・予防医学センター長
〃	柏木 厚典	社会医療法人誠光会	草津総合病院 理事長
〃	河盛 隆造	順天堂大学医学部	特任教授
〃	寺内 康夫	横浜市立大学大学院	分子内分泌・糖尿病内科学 教授
〃	山田祐一郎	秋田大学大学院	内分泌・代謝・老年内科学 教授

2. 糖尿病に関する予防・教育啓発活動の実施および助成

(1) 糖尿病予防キャンペーン講演会を西日本地区として和歌山県和歌山市において、和歌山県糖尿病啓発県民講座実行委員会との共催により下記のとおり開催した。
来場者は約 200 名であった。

主催：日本糖尿病財団・和歌山県糖尿病啓発県民講座実行委員会

世話人：近藤 溪（公立那賀病院 名誉院長）

日時：2019 年 9 月 15 日（日）13：00～16：00

会場：和歌山県 JA ビル

テーマ：あつれ～糖尿病！しっかり聴いて勉強やろっと

開会挨拶：近藤 溪

岩本 安彦（日本糖尿病財団 理事長）

1 基調講演「糖尿病とは？」

（座長）寺下 浩彰（和歌山県医師会 会長）

（講師）古田 浩人（和歌山県立医科大学 第一内科准教授）

2 運動療法「ミニレクチャーと実技指導」

（座長）佐々木秀行（和歌山県立医科大学みらい医療推進センター 教授）

（講師）森本 信三（白浜はまゆう病院 リハビリテーション科）

3 教育講演「小児の肥満・代謝異常」

（座長）英 肇（済生会和歌山病院 副院長）

（講師）芳山 恵（生長会阪南市民病院 小児科部長）

4 コント&〇×クイズ「腎症を予防」

(出演) ワカヤマ えーわっしょ (A1c) 劇団

閉会挨拶: 南條輝志男 (和歌山ろうさい病院 院長)

- (2) 糖尿病予防キャンペーン講演会を東日本地区として茨城県水戸市において、茨城県糖尿病協会との共催により下記のとおり開催した。来場者は約 300 名であった。

主催: 日本糖尿病財団・茨城県糖尿病協会

世話人: 遅野井 健 (茨城県糖尿病協会 会長)

日時: 2019年11月16日(土) 13:00~16:30

会場: ザ・ヒロサワ・シティ会館

テーマ: 糖尿病! みんなでわかれば怖くない!

開会挨拶: 遅野井 健

岩本 安彦 (日本糖尿病財団 理事長)

総合司会: 荷見 澄子 (西山堂慶和病院 院長)

特別講演「県民の皆様の健康を願って『茨城県の取り組み』」

田邊 好美 (茨城県保健福祉部健康・地域ケア推進課 健康増進 G 主査)

講演 I 「糖尿病ことば辞典」 (用語: 血糖値・HbA1c・インスリン・肥満・動脈硬化・合併症・尿検査)

仲本 信也 (仲本内科クリニック 院長)

講演 II 「糖尿病のクスリとリスク」

野牛 宏晃 (筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 内分泌・代謝内科 教授)

～糖尿病の素朴な疑問～クイズに答えながら糖尿病を知ろう!

座長 遅野井 健 (那珂記念クリニック 院長)

仲田真依子 (那珂記念クリニック 医師)

疑問 1 ごはんとおかずどっちが大事?

高野 由夏 (那珂記念クリニック 糖尿病療養指導士)

疑問 2 ホントに動ける? 食べた分

馬場 康子 (筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 糖尿病療養指導士)

疑問 3 敵か!? 味方か!? 100%野菜ジュース

藤田 真由美 (西山堂慶和病院 糖尿病療養指導士)

疑問 4 サプリメントは糖尿病を救えるか?

松本 晃一 (東京医科大学茨城医療センター 糖尿病療養指導士)

疑問 5 摂っているの? 悪いの? タンパク質

青木 かを里 (青木医院 医師)

疑問 6 やめられない? 止まらない? インスリン注射

飯嶋 秀郎 (友部セントラルクリニック 院長)

閉会挨拶: 遅野井 健

3. 糖尿病に関する国際交流活動の検討

国際交流活動の一環としてノボノルディスクファーマ(株)との共同企画により、新たな海外研修会を来年度実施することを具体的に検討し、それに対する助成を行うことを決定した。

公益目的事業 2

「2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入後の追跡研究」の実施

本事業は、厚生労働省が政策的な糖尿病対策として推進した「糖尿病予防のための戦略研究」の3課題のうち、2006年6月より被験者登録を開始した「2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験（J-DOIT3）」を継承する事業である。

本研究では、血糖・血圧・脂質に対してより厳格な目標を設定した治療を行い、従来のガイドラインに沿った治療と比較して、大血管障害の進展を30%抑制できるかを検討する。

本研究は全国81医療施設と2,542例の被験者登録により、平均8.5年間という長期にわたる試験治療が進められ、介入研究自体は2016年3月末で一旦終了したが、これまでの糖尿病に対する臨床研究にも比肩する期間となった。

本研究において、主要評価項目（心筋梗塞・冠動脈血行再建術・脳卒中・脳血管血行再建術・死亡）は統計学的に有意ではなかったものの19%抑制し、登録時の喫煙情報などの危険因子で補正すると24%有意に抑制する結果となり、筆頭副次評価項目（心筋梗塞・脳卒中・死亡）も有意ではないながら26%抑制された。さらに事後解析においては、脳血管イベント（脳卒中・脳血管血行再建術）を58%有意に抑制しており、副次評価項目のうち、腎イベント（腎症の発症・進展）は32%、眼イベント（網膜症の発症・進展）についても14%の有意な抑制がみられた。この研究結果は、今後の国内外の糖尿病診療ガイドラインの治療の目標値について、より厳格な方向で見直しが進む可能性がある。

また、この解析結果は2017年9月に欧州糖尿病学会（EASD2017）にて発表するとともに、国内では協力施設の関係者向けに報告会を実施し、英国科学雑誌（Lancet Diabetes & Endocrinology）への掲載も行っている。

一方、これまでの糖尿病の合併症抑制の介入研究における強化療法の有効性は、介入終了後の長期追跡が不可欠であったことから、治療効果をより長期的に観察するため、介入終了後の追跡研究を2016年4月より5年間（2021年6月まで）の予定で開始することを決定した。追跡研究では75医療施設で、介入研究中の死亡・脱落などを除く同意の得られた1,730例の継続参加のもと、1年ごとに調査を実施している。

具体的には、身長・体重や薬物療法の実施状況等とともに、重要な危険因子であるHbA1c・血圧・コレステロール値に加え、血液学検査、肝・腎機能検査等の定期調査項目、及び主要又は副次評価項目として設定したイベント発生の有無について調査を継続実施している。介入研究は大血管症の予防に主眼を置いていたが、追跡研究では生命予後にも重点を置いており、糖尿病やその治療薬と関連の深い重症低血糖、心不全による入院、悪性新生物、骨折、認知機能、QOLについても探索的評価項目として、調査中止となるケースも含め継続的に情報の収集を行っている。

この研究結果は介入研究の解析結果とともに、厳格かつ統合的な治療の合併症に対する長期的な効果も明らかになると期待されており、糖尿病診療の現場に与える影響も大きく、ひいては生命予後に直結し、高額な医療費を必要とする大血管合併症の予防につながることで期待される。

研究全体は研究代表者が統括し、当財団理事長は研究分担者の一人としてこれを補佐するとともに、当財団は研究基盤整備やモニタリング等のサポートを実施する体制となっている。

2019年度日本糖尿病財団研究助成金交付対象者リスト

(各90万円)

氏名	所属	研究課題
五十嵐 正樹	東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 助教	腸管上皮の老化関連遺伝子による糖代謝制御機構 解明とその応用
井上 啓	金沢大学新学術創成研究機構 革新的統合バイオ研究 コア栄養・代謝研究ユニット 教授	迷走神経性臓器連関が2型糖尿病の病態に果たす 役割の解明
小川 渉	神戸大学大学院 医学研究科内科学講座 糖尿病・内分泌・総合内科学 教授	腸管を介したメトホルミンの新規作用メカニズムの 解明
久保原 禪	順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科 健康生命科学教室 教授	新規肥満・糖尿病治療薬の開発とその作用機序解析
藤坂 志帆	富山大学附属病院 第一内科 助教	糖代謝を悪化させる ω 6不飽和脂肪酸特異的腸内 細菌由来代謝産物の同定
吉田 陽子	新潟大学大学院 医歯学総合研究科循環器内科学/ 先進老化制御学講座 特任助教	細胞内代謝リモデリングによるベージュ細胞誘導 メカニズムの解明

五十音順

第6回(2019年度)ベーリンガー／リリー糖尿病研究助成金交付対象者リスト

(各300万円)

氏名	所属	研究課題
池田 賢司	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科分子内分泌 代謝学分野 講師	肥満・2型糖尿病によって生じるベージュ脂肪細胞の 誘導抑制機構の解明
稲葉 有香	金沢大学新学術創成研究機構 革新的統合バイオ研究 コア栄養・代謝研究ユニット 助教	肝臓グルコキナーゼの新規活性制御メカニズムの 2型糖尿病新規治療標的としての有用性の解明
阪口 雅司	熊本大学大学院 生命科学研究部総合医薬科学部門 代謝・循環医学分野 特任助教	成人の褐色脂肪組織再生を促す生理活性因子の 研究

五十音順

2019年度コストコ研究助成金交付対象者リスト

(各90万円)

氏名	所属	研究課題
伊藤 新	慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科 特任助教	GLP-1受容体作動薬によるT細胞アネルギー誘導を介した1型糖尿病の根治療法の開発
津山 友徳	熊本大学大学院 生命科学部附属健康長寿 代謝制御研究センター 特任助教	MODY3原因遺伝子HNF1 α によるグルカゴン分泌制御機構の解明
富丸 慶人	大阪大学大学院 医学系研究科消化器外科学 助教	1型糖尿病に対する膵島移植の成績向上を目指した血管化三次元膵島組織の構築
福井 竜太郎	東京大学医科学研究所 感染遺伝学分野 助教	核酸認識系TLRによる1型糖尿病誘導メカニズムの解析
古田 浩人	和歌山県立医科大学 内科学第一講座 准教授	単一遺伝子異常による若年発症糖尿病の原因遺伝子解明

五十音順

2019年度学術研究集会・総合研究助成先一覧

	学会・研究会名	内 容
1	第31回分子糖尿病学シンポジウム	分子生物学的研究手法を用いた糖尿病に関する研究成果等のシンポジウム
2	第57回日本糖尿病学会 関東甲信越地方会	日本糖尿病学会の関東甲信越地方会の開催
3	第35回日本糖尿病・妊娠学会 年次学術集会	日本糖尿病・妊娠学会の年次学術集会の開催
4	第17回1型糖尿病研究会 (第19回日本先進糖尿病治療研究会)	1型糖尿病に関する研究等のシンポジウム 日本先進糖尿病治療研究会との合同開催
5	大阪糖尿病アカデミー	地域における糖尿病患者のQOL改善に貢献することを目的として活動している学術集会
6	第63回日本糖尿病学会年次学術集会	日本糖尿病学会の年次学術集会 今回のテーマは糖尿病学の基礎と臨床(チーム医療で目指す糖尿病のトータルケア)として開催
7	第70回日本体質医学会総会	日本体質医学会の年次学術集会 今回のメインテーマは健康寿命の延伸、糖尿病研究を中心に各疾患の予防・治療法の啓発を図ることを目的として開催
8	小児インスリン治療研究会	小児糖尿病のインスリン治療に関するプロジェクト研究、コホート研究の推進および合併症の追跡調査
9	J-DOIT2研究会	受診中断の抑制を図るための方法の確立を目的として施行されたJ-DOIT2の後続研究

順不同